

【テニュアトラック推進機構セミナーのご案内】

主催：宮崎大学テニュアトラック推進機構TT推進オフィス

共催：宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター（CADIC）

セミナーのテーマ：

産業動物分野における『疫学』の意義と活用法

日時：6月26日（金） 17:00～19:00

場所：獣医棟視聴覚室（宮崎大学 木花キャンパス）

【プログラム】※講義は英語ですが、スライドには日本語訳をつけます

講演① 疾病コントロールに有効な手法の紹介

Use of quantitative epidemiology to guide disease management and decision-making
Dr. Julio Álvarez (Assistant Professor, University of Minnesota)

講演② 疫学と経済の関連性：動物を群として健康管理するための手法

Understanding animal health issues from an integrated view:

some tools from the epidemiology and socio-economics

Dr. Pablo Valdes-Donoso (Researcher, University of Minnesota)

【講師紹介①】

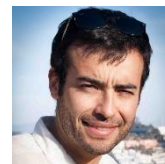


Dr. Julio Álvarez

Universidad Complutense de Madrid（スペイン）で獣医師免許を取得後、同大学で獣医博士号を取得。ポスドクとしてスペインや米国の大学または研究所で勤務し、感染症の空間伝播に関する疫学研究を行う。主な研究対象はBrucellosis、Tuberculosis、PED、PRRS等。

現在は University of MinnesotaのAssistant Professorとして勤務し、時空間解析によって地理情報や感染伝播の情報を分析し、疾病コントロールに有効な知見の探査を行っている。

【講師紹介②】



Dr. Pablo Valdes-Donoso

Universidad de Chile（チリ）で獣医師免許を取得後、チリのMarine Harvest ASA社でサーモン産業における臨床獣医師として勤務する。その後 University of CaliforniaのDavis校で Preventive Veterinary Medicineの修士号を取得。来年同博士号を取得予定。

現在はUniversity of Minnesotaの研究者として、ヒトの社会活動が動物の群の健康管理に与える影響について、生物学的および経済的な視点より研究を行っている。

【問い合わせ】

佐々木 羊介

宮崎大学 テニュアトラック推進機構 農学系畜産学分野

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1 農学部S425号室

TEL & Fax : 0985-58-7864

E-mail : yskssk@cc.miyazaki-u.ac.jp